

No Community, No Life.

studio-L





コミュニティデザインのフィールド

公園

デパート

商店街

集落

郊外住宅

医療施設

美術館

総合計画

福祉計画

食育計画

生協

寺院

企業

行政

大学

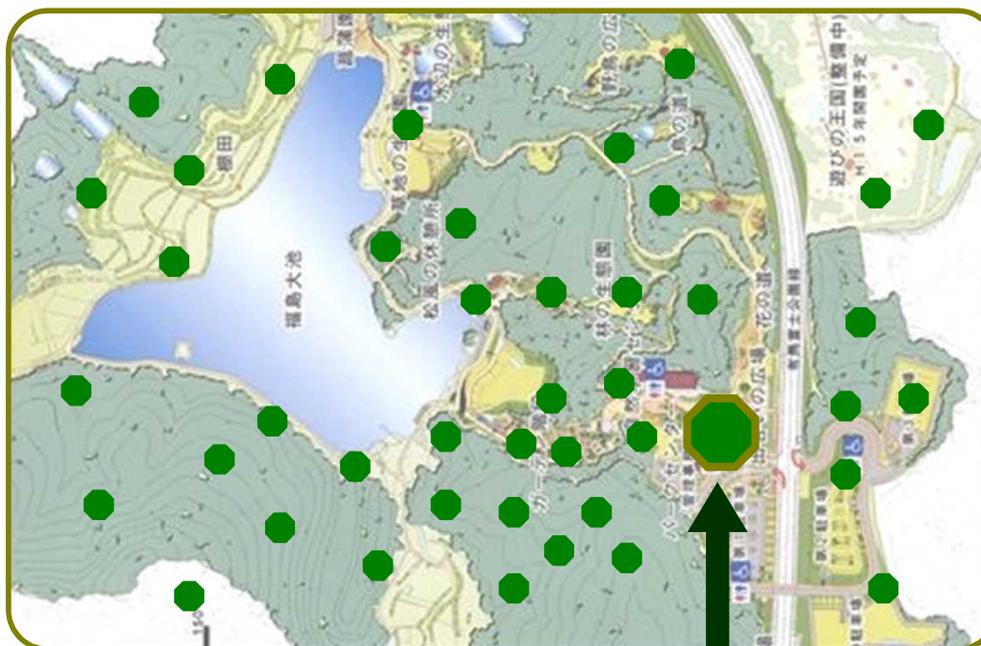


2001-2007

有馬富士公園

(兵庫県)

有馬富士公園



来園者



2007-

泉佐野丘陵緑地 (大阪府)

■整備の役割分担



コラボレーション区域

計画段階から、府民と行政が
運営会議の意見を聞きながら
一緒につくっていく区域

リーディング区域

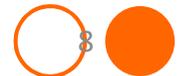
運営会議の意見を聞きながら
行政が整備する区域



■パークレンジャー養成講座



- 2009年度から開講
- 全11回の養成講座を実施
- 公園づくりに必要な知識や技術、仲間とのコミュニケーション方法を習得
- 2009年度修了生21名
- 2010年度修了生28名
- 2011年度修了生34名
- 2012年度受講生20名



■パーククラブ設立準備会（養成講座修了後の動き）



□現地での活動（月に3回）

- ・ 公園内の道づくり
- ・ 動植物調査
- ・ イベント準備
- ・ 草刈り
- ・ 竹林の伐採 等



□会議（月に1回）

- ・ 活動の報告
- ・ 今後の活動内容の検討
- ・ パーククラブ会則の検討 等



2009-2010

マルヤガーデンズ (鹿児島県)

Maruya gardens

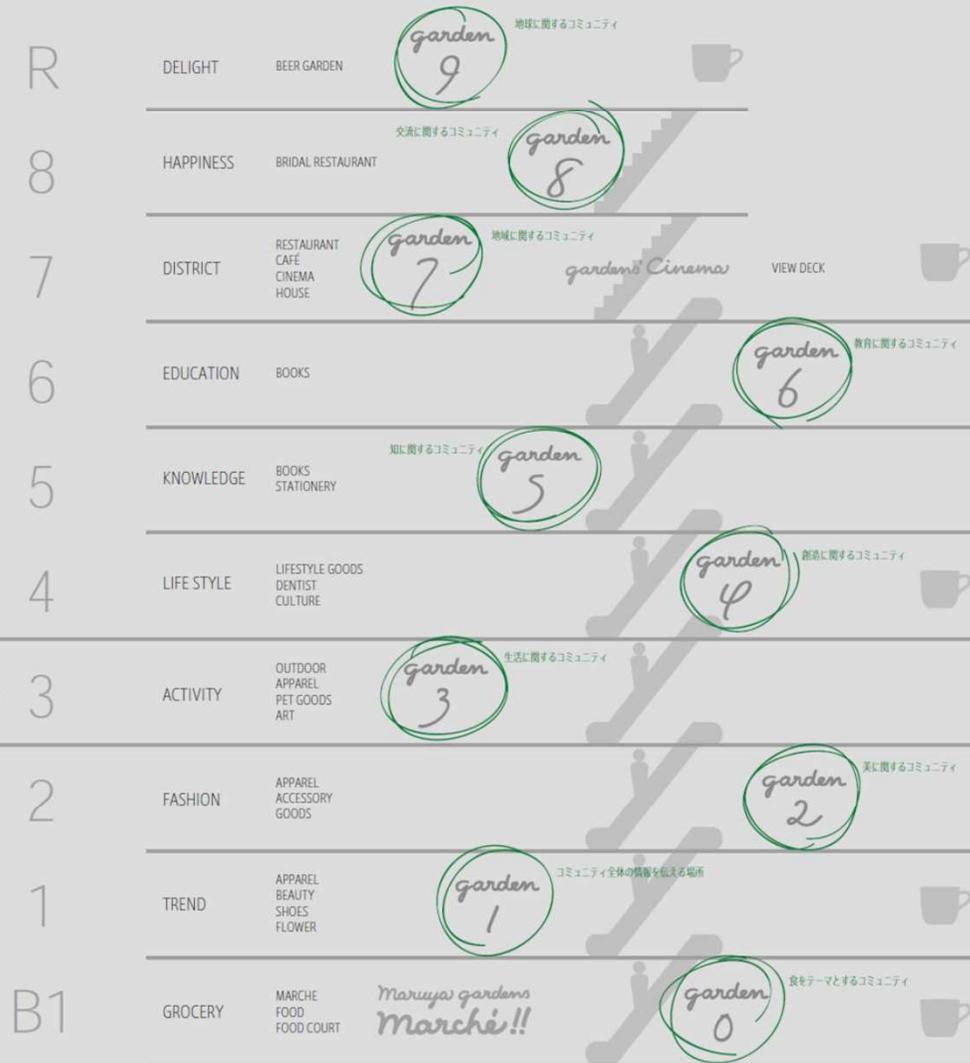
Community (集まる場所)

Department (百貨店)

Unitement (すべてをつなぐ)

つくり、新しい鹿児島を。人と人が、もっと自由につながり合える場所を。鹿児島・天文館に、かつてどこにも存在しなかった、まったく新しい空間が生まれます。マルヤガーデンズ—百貨店のようでありながら、「ガーデン」と呼ばれる10のギャラリーを持つこの場所は、いわば「買い物集会所」。ショッピングを楽しむ。マルシェで夕飯の食材を買う。ガーデンで開催されるワークショップに参加する。あるいは、自分たちの手で展覧会をひらく。様々なカタチでこの場所と関わりながら、新たな発見や感動に出会うことができます。マルヤガーデンズは、デパートメントストアではありません。そもそもDepartmentとは、「部門」や「課」という意味の言葉。私たちがめざすのは、独立したお店の集合体ではなく、お客様、お店、ガーデンすべてをつなぐことで、ひとつの意志を発信できる場所。人と人、人とモノ、モノとコト。すべてが有機的につながり合い(=Unite)、この館を覆う緑のように、葉を茂らせ、茎を伸ばし、成長を続けながら、みんなが自然と集まる場所でありたいと思うのです。つまり、Departmentではなく、Unitement。あなたと誰かを、あなたと何かをつなぐ場所。創造の空気にあふれ、つねに新しい何かを生み出す可能性を秘めた場所。マルヤガーデンズとUniteすることで、あなたの毎日はずっと、少しずつ変わりはじめます。あなたが変わることで、ここに新しい風が吹き、次なる刺激や出会いが生まれるはず。デパートメントから、ユナイトメントへ。新しい鹿児島を、あなたと一緒に歩きはじめます。

www.maruya-gardens.com





2011-

立川市こども未来センター (東京都)

2014-

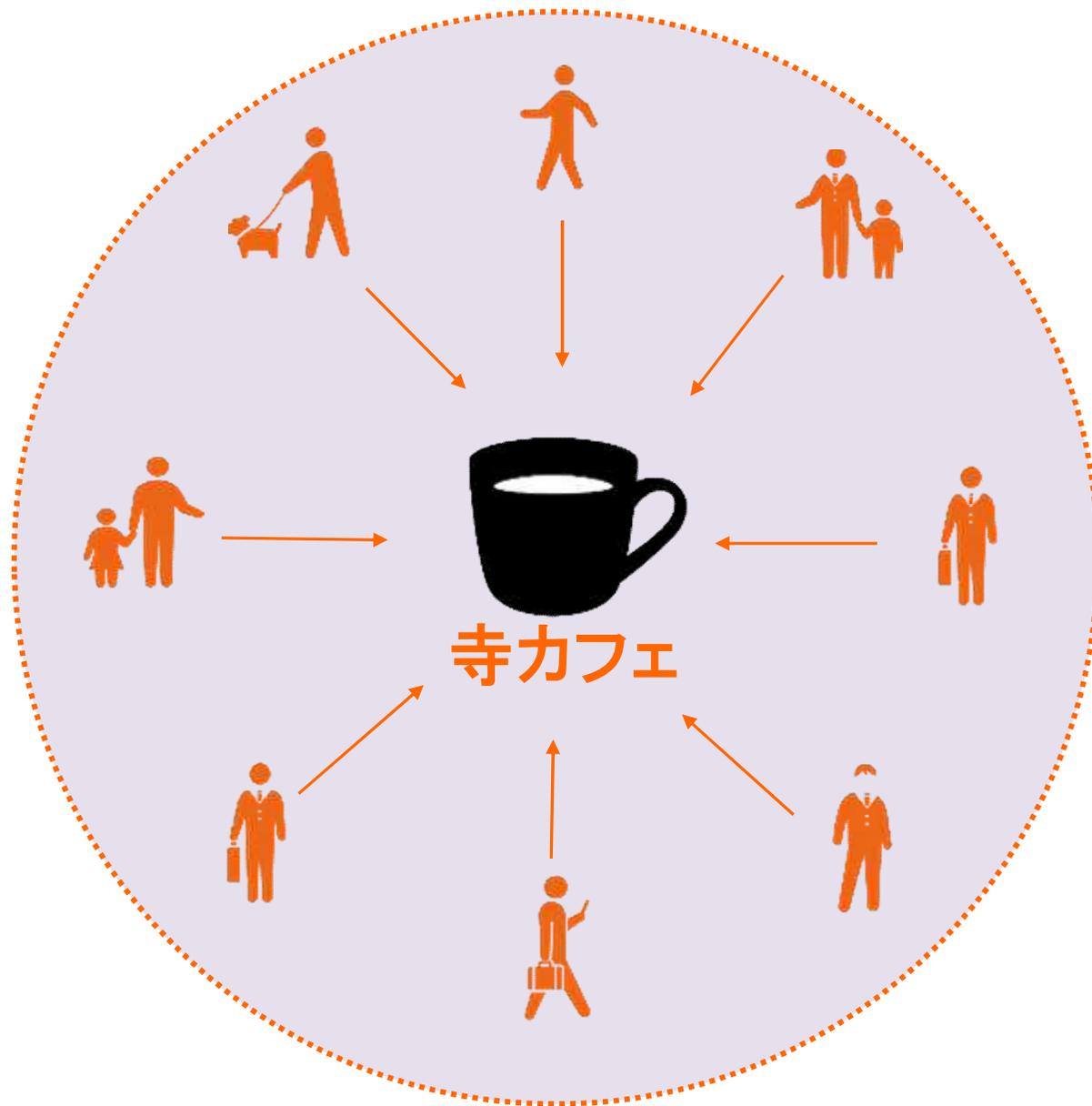
根室別院

(北海道)

門徒さんでなければ、お寺には入りにくかった



地域との接点をつくれば、お寺に来る人がいる



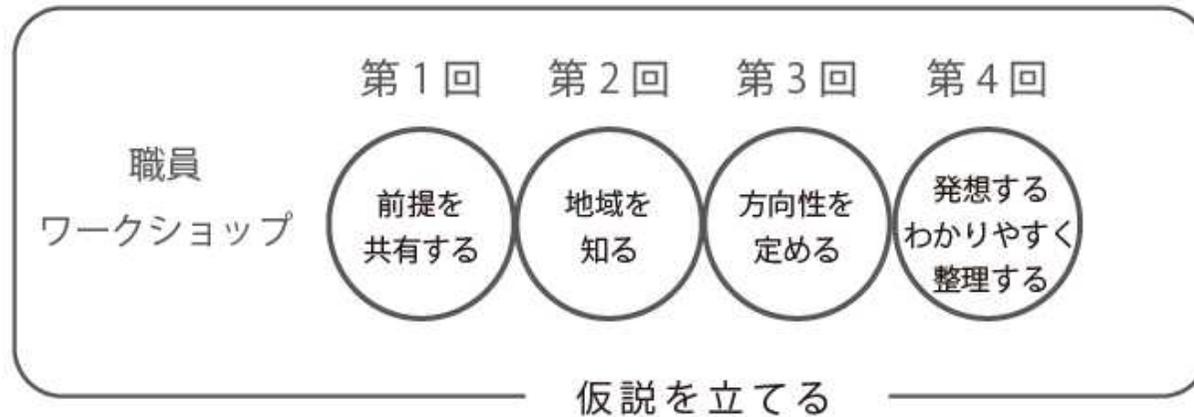
2015-

コープこうべ (兵庫県)

こえるプロジェクトの流れ

今年度

次年度以降



軌道修正しながら
地域のみなさんと一緒に練り上げる

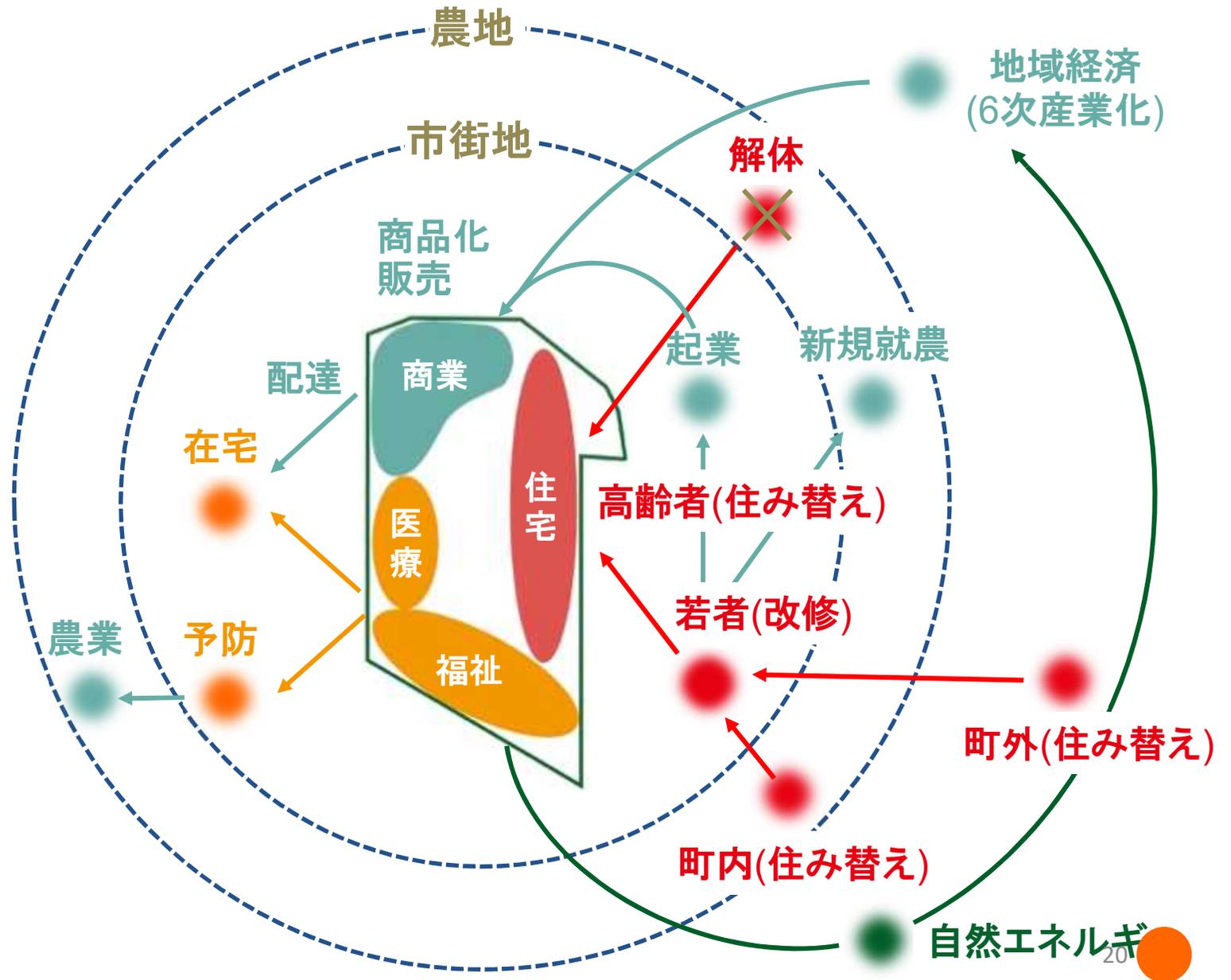


2013-

沼田町コンパクトエコタウン (北海道)



小規模自治体のコンパクトタウンモデル



これから塾の開催

第1回 参加者28名

町内 25名 町外 3名

4月21日(月)

健康づくりと運動・食事
旭川医科大学 住友和弘先生

疾病構造の変化をベースに生活習慣病と歩くこと、食べることの実践と効果について



第2回 参加者78名

町内 65名 町外 13名

5月19日(月)

地域医療と福祉の連携
佐久総合病院 北澤彰浩先生

長野県JA佐久総合病院を事例に地域と共にある病院として、場づくり、人づくり、役割づくりについて



第3回 参加者60名

町内53名 町外 7名

6月23日(月)

シェア金沢でのまちづくりの実践
-住居・福祉・店舗が集まる暮らし-
社会福祉法人 佛子園 理事長
雄谷良成さん

シェア金沢を事例とした、住居・福祉施設・店舗が集まるまちづくりの実践



第4回 参加者55名

町内 35名 町外 20名

7月22日(火)

地域包括ケアの取り組み
ケアーズ白十字
訪問看護ステーション 秋山正子さん

暮らしの保健室を事例に、病院だけに頼らない地域包括ケアの実践について



2011

北加賀屋みんなのうえん

(大阪府)

畝づくり・苗植え



畝づくり

苗植え



2015-

泉北ニュータウン魅力発信 (大阪府)

泉北をつむぐ まちとわたしプロジェクト

1年目

テーマ別のチームにわかれて活動企画 → お披露目会



まちの食堂

キーワード: 飲食、調理、収穫



まちの居間

キーワード: 音楽、アート、交流



まちの庭

キーワード: 遊び、学び、運動



まちの廊下

キーワード: 移動、道づくり、清掃



まちの玄関

キーワード: 情報発信、魅力発掘



2011-

墨田区食育推進計画

(東京都)

すみだ食育ワークショップカード 『食で育む100のタネ』



2012-

富岡市世界遺産まちづくり

(群馬県)

世界遺産の「消費期限」は3年？

観光の来訪者数が300万人とした場合の
受け入れビジョンは？

？

300万人×1年

？

50万人×6年

？

25万人×12年



ビジョンを共有した上で、市民が主体となった具体的なアクションへ

2012-

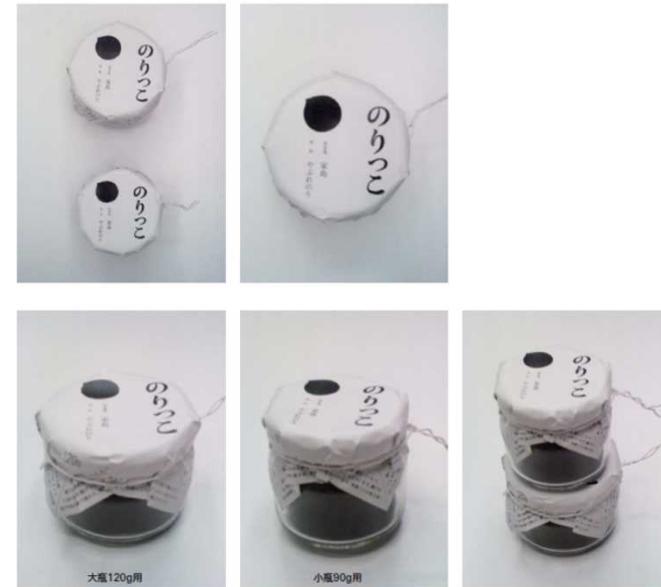
長久手なでラボ (愛知県)

2002

いえしまプロジェクト (兵庫県)

<のりっこ>

- ・家島の空気感を伝える四方のメッセージ
- ・お土産として誰かに買って帰りたくなる上品さ
- ・島ののどかな雰囲気伝えるため商品名をひらがなに

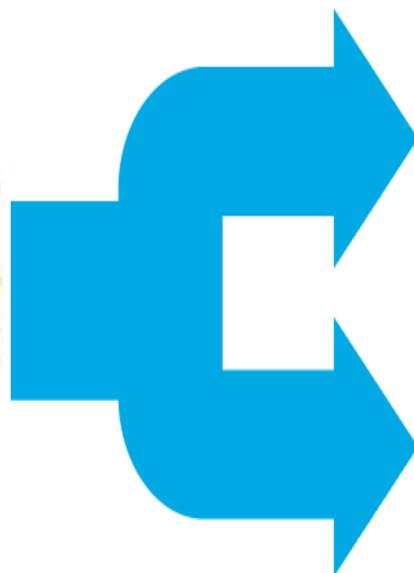


「公」を担う「民」としての役割

- ・特産品づくりは、島のPRにつながる。
- ・特産品販売で得た利益を、島の公的な活動につなげる。



特産品



まちの広報

コミュニティバス

2007

海士町プロジェクト

(島根県)

● 未来をつくる会の開催内容

第1回	全員	未来をつくる会とは？＋チーム分け
第2回	各チーム	海士町の理想の10年後とは？
第3回	各チーム	海士町の魅力（強み）・不安
第4回	勉強会	社会の流れと各チームの中間報告会
第5回	各チーム	不安を解決するためのアイデア
第6回	各チーム	アイデアの具体化
第7回	各チーム	アイデアを提案集にまとめる
第8回	全員	海士町の未来への提言（最終報告会）

勉強会や合宿
を3回実施

もくじ

- 03 町長あいさつ
- 04 はじめに

- 08 海士町は素晴らしい！
- 10 海士町の自慢
- 12 今、海士町がかかえる問題
- 16 海士町の未来を描こう
- 18 まちづくりなんてできないと思っている人へ
- 20 この本の使い方

22 1人でできること

- 24 01 歩いて暮らそう
- 26 02 天職をみつけよう
- 28 03 海士の味をうけつごう
- 30 04 もっと水を大切に！
- 32 05 もったいない市場
- 34 06 エネルギーを見直そう
- 36 コラム1

38 10人でできること

- 40 07 海士人宿につどおう
- 42 08 ガキ大将を育てよう
- 44 09 あまさん倶楽部
- 46 10 海士ワーキングホリデー事業
- 48 11 ワゴンショップ海士号
- 50 12 おさそい屋さんになろう
- 52 コラム2

54 100人でできること

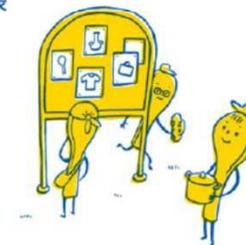
- 56 13 ちいさな農のある暮らし
- 58 14 炭焼きクラブ「鎮竹林」
- 60 15 A M A 情報局を開局しよう
- 62 16 欲しいものは島でつくる
- 64 17 支えあって暮らそう
- 66 18 地域に「ただいま」を言おう
- 68 19 里山と里海をつくろう
- 70 20 みんなで学ぶ島のエコ
- 72 コラム3

74 1000人でできること

- 76 21 地域が支える学校づくり
- 78 22 魅力ある島前高校をつくろう
- 80 23 海士大学に入学しよう
- 82 24 海士まちづくり基金

- 84 提案をかたちにするために
- 86 役場のリーダーと相談と支援の窓口
- 88 アイデアをかたちにする5つのステップ
- 90 海士町総合振興計画本編との対応表
- 92 この本ができるまで

- 96 海士町まちづくり提案書





2012-

小豆島コミュニティアート (香川県)

A man with a shaved head, wearing a dark jacket and a plaid scarf, stands on the right side of the frame. He is holding a microphone in his left hand and gesturing with his right hand towards a large screen on the left. The screen displays the Japanese text 'アート作品の「ルール」'. The background is a plain wall with a door visible on the right. The lighting is somewhat dim, typical of an indoor presentation.

アート作品の「ルール」

アートのルールについて学ぶ





様々な濃度の醤油に、後ろから光をあてる





アクリル板に貼付けし、壁をつくる





ひしお（醬）会がまちづくりの活動を開始



2008

笠岡諸島子ども振興計画

(岡山県)

2012-2014

笠岡市産業振興ビジョン

(岡山県)

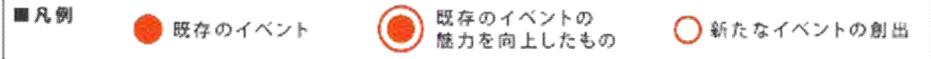
2013-

しまのわ2014

(広島県)



しま博覧会（仮称） 地域イベント魅力向上支援事業



平成24年度
支援事業計画の策定

平成25年度
支援事業の実行

平成26年度
しま博覧会（仮称）の開催



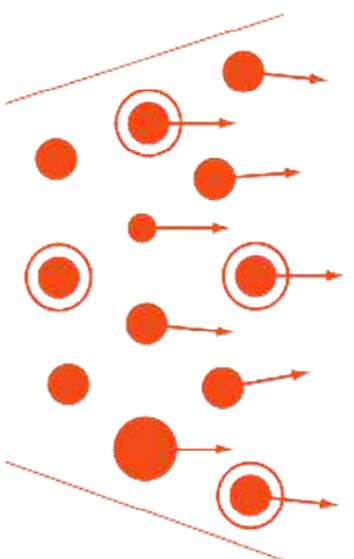
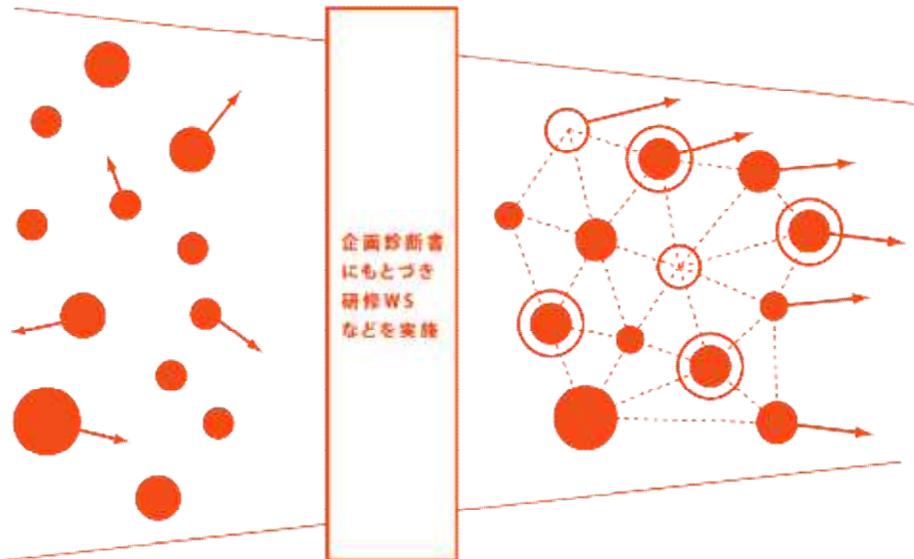
- ・民間企画イベントや観光プログラム化できる地域資源のリストアップ
- ・各市町・住民団体等へのヒアリングを実施
- ・各地域資源について企画診断書を作成
- ・支援計画（案）の策定



- ・基礎知識を習得するための研修ワークショップを実施
- ・「ヒト」「モノ」「コト」の強化による地域イベントの魅力向上
- ・社会実験プレイベントとして実施
- ・社会実験プレイベントの結果を検証
- ・必要な補正をし、さらなる魅力向上方策を実施
- ・地域内の交流を深め、地域内で連携

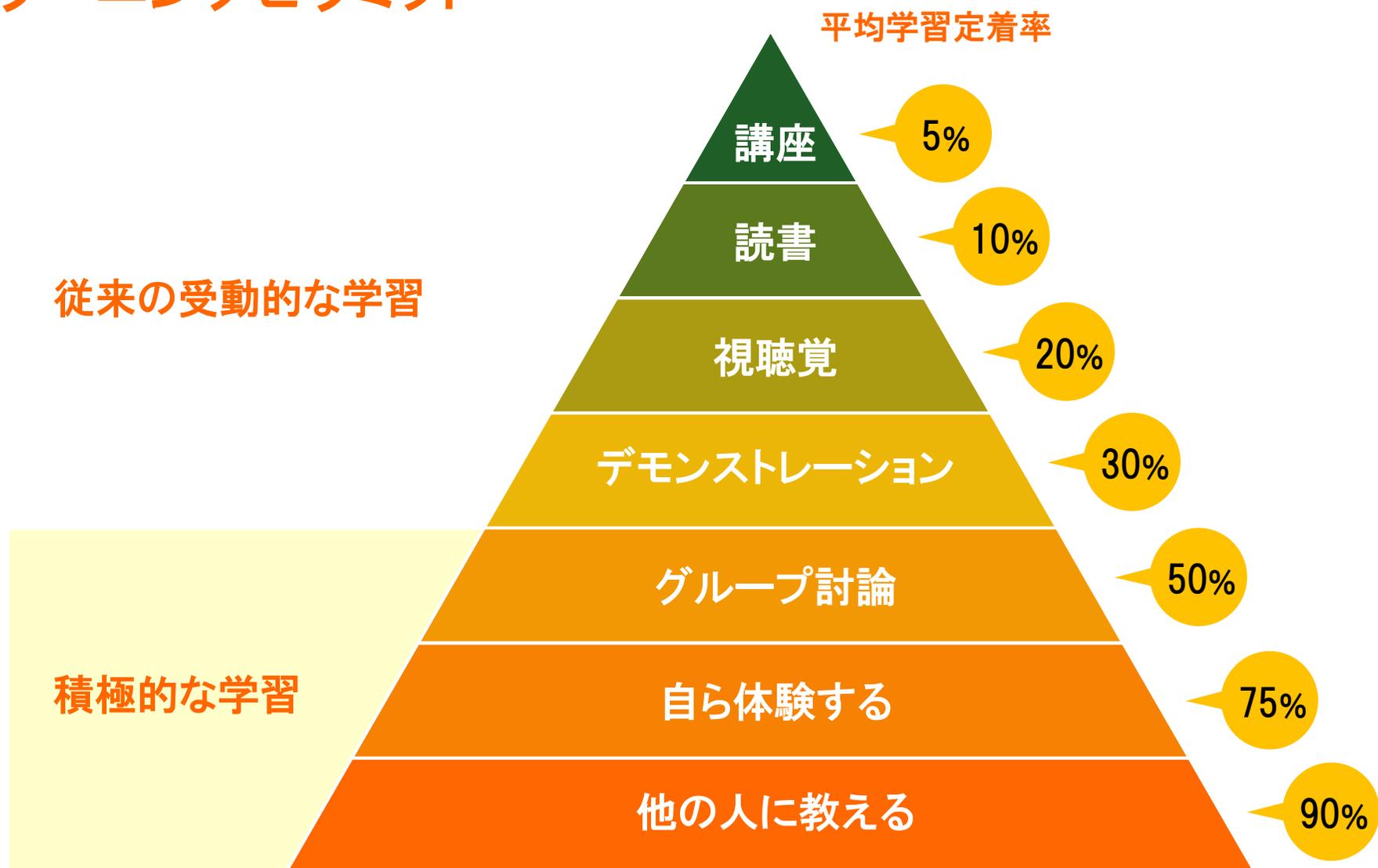


- ・民間企画イベントの継続的・自立的な運営
- ・継続的なブラッシュアップ
- ・継続的かつ自立的な財源の確保



まとめ

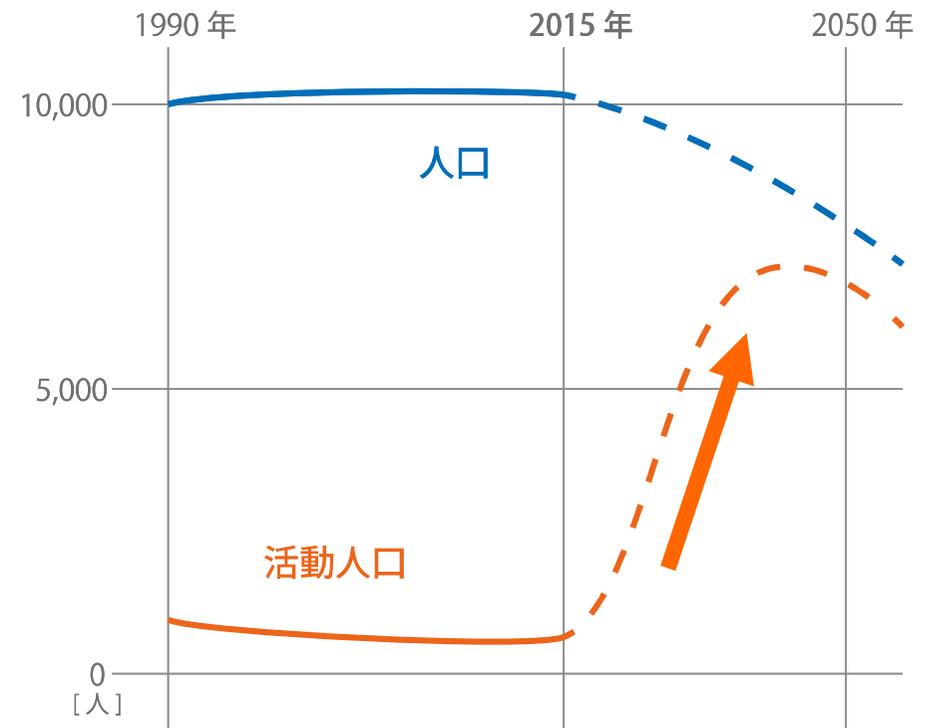
ラーニングピラミッド



出典:アメリカ国立教育研究所



定住人口と活動人口の関係



定住人口が減る→交流人口を増やそう！

⇒活動人口も増やそう！

定住人口と活動人口の関係

